

### いわき民報

社報民きわい  
（第一八三號） 第一町田市平  
己克輝千 人 行 登 印 定  
後五十月一 月 月 月 一 價 定

### 石材販賣

才敷 價格は御照會を乞ふ  
平市二丁目三五  
平石材採掘株式  
電話二〇〇八番

## 日農の要求全部貫徹

### 褒賞物資は揭示、臺帳は公開 土地、食糧兩委員會も決定

日本農民組合石城協議會が去月二十四日食糧對策委員會の設置不正地主に對する共同警告等々を決議、地方事務所を要求、續いて二十八日地方事務所側と意見交換を行った結果、一日付で地方事務所側の正式回答に接した。右に依る左の如くで農組側の要求及び希望は全面的に認められた。

△食糧對策委員會 従来の供出委員會を廢し農組・消費者・町村側等を網羅して結成、必ず日農代表の参加を認める。

△供出制 従来の割當は机上案で實際に則さぬ故に後は土地の状態、家族數關係等を參酌、先づ保有割當量を算出し、割當基準の正確算出を要す。

△土地委員會 現在の農地委

## 六月中の配給は保證

### 馬鈴薯は先づ還元量を控除

食糧危機は昨今漸く深刻化し、結果、田植時期の六月中は食糧供給に於て必ず確保配給はせぬ旨の状況にあるが、萬一配給の如き確保得ると同時に増産に大切な要素の増産に對して必要なる馬鈴薯の増産に對しては、従來馬鈴薯組合へ飼料として配給されてきたが、青草も出て飼料争中一時見合せとなつたが、終と會見後一日、平食糧管片寄問題も解決し得るので、今後は戦と同時再建することに決定。食糧からの糧は或る程度配給の絶対先づ工費五十萬圓で六教室及び

## 月曜論談

### 鯛の大漁に期待

食糧難の打開策に魚類の生産が大きく浮び上つて來た。國內の米麥は絶対量が足りぬとすれば代替を何れに求めらるか、四界海の日本では手近なところで魚類に求めることが當然の歸結である。戦時中は船も出られなかつた。永い間の休漁で外洋にはウンと魚

### 市生産家庭用品展

他縣品に代へ御使用願ひます

最近めざましく復興して來た平づ十八名の理事を互選、うち十市工業界は家庭用品の製造を六名は事業主が之を占め會長に常務安藤大貴所長が納り更に同市をよそに他縣からの製品をこれを利用しての傾向にあるのし従前の事務を引継いだ、そので、縣商工經濟會平支部では平市並に縣鐵工機械工業會の後援を得て十五日より三十日まで半月間市内三丁目大黒屋並になかや商店に「平市内生産家庭用品展示會」を開き鐵工製品、木工製品、竹、土製品等家庭用品で市場に販賣し得るものを陳列し、市内にもそんなに立派な製品が出來ます」と市民へ呼掛けることになつた。

## 小名濱高女 再建に決定

小名濱町の高女校建築問題は戦時中一時見合せとなつたが、終つて再建することに決定。工費五十萬圓で六教室及び

## 石炭統制會 看板塗替へ

石炭統制會では一日から「石炭要求内容は休山の場合は退職手増産（自主的に再出資した、従以前に對して支給せよ、但し一省の指令に依つて運営されてゐる八十圓以上支給等賃金の要たものであるが民主主義の流れを求るとしては最も加重なものであ

## 甘藷の大増産へ

石城郡農業會では甘藷の大増産を起してその後作に二十日ごろを過ぎるべく特に甘藷苗の育成に力を入れたが、電熱を利用しての育成が極めて良好、多少減産を免れないが、余つた力を入れたため發育が極めて良好、多少減産を免れないが、余つた郡内各農家に配つてもなほ四百廿萬石を利用することに依つて五十萬本の大量が余る始末な甘藷の増産が得られ、結果からで石城地方事務所では更に強力に見てお儲の收穫が多くなるわけな「甘藷を植ませよう」運動であるが、この諸苗を全部利用展開、先づ馬鈴薯の早掘を奨励すると約五百五十町歩のお儲が出來上るわけだ。

### 兒童就職斡旋成績

平勤勞署五月で一應打切り

平勤勞署では今年卒業した國民學校兒童の就職紹介を五月末を以つて打ち切り以後は一般就職に重点を置くことになつたが同署で就職斡旋した兒童は

- ▽工業 二百九十三名（女子八十一名）
- ▽礦業 二百五十六名（女子六十七名）
- ▽運輸通信業 七名
- ▽自由業四名（女子三名）
- ▽公務五名（全部女子）
- ▽商業 一名

計五百六十六名（女子五百五十七名）でこの外縁古關係の就職は學校側からの報告に依ると五十三名（女子三十一名）であつた。

吾妻君快勝

平市常陽銀行前より湯本町々會議事堂往復の短縮マラソンは二日行はれたがその結果は左の通り郡山市の吾妻昭三君が優勝した。

市民各位へお詫び

六月一日午後八時頃サイレンが吹鳴されポンプが自動しました。原因は當江場にて爆弾作業終了時の火焔が夜空に反映したのを火災と誤認されたもので御迷惑をかけた關係當局及警防團並に市民各位に紙上を以てお詫び致します。

六月二日 平市堂前四 株式會社 平製作所

からもお百姓ばかりでなく一般家庭もあるので會社側と連絡家庭でもお儲植込が運動に参加して欲しいと地方事務所では語つてゐる。

### 北方漁業者の生計救済に

平勤勞署乗出す

平勤勞署では北方漁撈に従事中抑留された左記日魯漁業會社事務者について留守宅の生計状況を調査した結果相當困つてゐる

秀 柳本夏雄、木村徳次、澤廣 今野一男、山賀三郎、回谷幸二郎、石山登治、上田大貴、佐竹宗五郎、大橋良夫、千葉健介、瀧田正次、渡邊吉、齋藤茂雄、菅野卯藏、藤清（赤井村）、佐久間孝平、齋藤利明、猪狩次男、本川修

## 福島炭礦の値上げ要求

三日に回答と決す

赤井村福島炭礦相川坑勞組では二十五日賃金五割増外八ヶ條の要求を會社側へ提出、三十一日まで回答を求めたが會社側では三日まで回答を延期して貰ひたい旨勞組側へ申入れた、今回の要求内容は休山の場合は退職手増産（自主的に再出資した、従以前に對して支給せよ、但し一省の指令に依つて運営されてゐる八十圓以上支給等賃金の要たものであるが民主主義の流れを求るとしては最も加重なものであ

## 吾妻君快勝

平市常陽銀行前より湯本町々會議事堂往復の短縮マラソンは二日行はれたがその結果は左の通り郡山市の吾妻昭三君が優勝した。

市民各位へお詫び

六月一日午後八時頃サイレンが吹鳴されポンプが自動しました。原因は當江場にて爆弾作業終了時の火焔が夜空に反映したのを火災と誤認されたもので御迷惑をかけた關係當局及警防團並に市民各位に紙上を以てお詫び致します。

六月二日 平市堂前四 株式會社 平製作所

### いわき寸言

平市二丁目計時商大谷武雄氏經營の時計組立工場は、見返り物資として海外へ輸出する点將來性あるものと期待されてきたが、五月末日突如閉鎖されたことになつた。理由は發表されてゐないが、工員が要求を拒否することが原因に因るものらしい。内容的には知る由もないが、閉鎖されたばかりで閉鎖は地方的にも國家的にも惜しい。此處で吾等の三省せねばならぬことは職を求めるとは「月給などとはどうもいふと確約しながら、入つて了ふと、要求」と出る。現在社會情勢から見て、要求も又無理からぬことであらうが、企業や個人の事業は必ずしも事業家に身方するものではないが、従つて流行を追ふことには四分重石長藏（同）一時間一結果に於て不幸を招くのではな

